

第4回いわき市震災メモリアル検討会議の主な意見等

1 事業コンセプトについて

【論点】

- ・ 文言や図がふさわしいものになっているか。
- ・ 前回会議の内容が落とし込めているか。追加項目はないか。

【主な意見】

- ・ 三つの事業ミッションがすべて並列の項目として書かれているが、「震災の記録の保存と継承」を核にすることが伝わる書き方にした方が良い。
- ・ 「記憶」「記録」「経験」「教訓」など、文言の使い方についてそれぞれ定義を共有しておく必要がある。
- ・ 五つの基本方針の記載の仕方は並立にしつつ、アーカイブ機能の構築がメインであることを明記する。

2 中核拠点施設について

【論点】

- ・ 中核拠点施設はどのような機能を担っているか。
- ・ 建設場所の立地条件としてどのようなことが挙げられるか。

【主な意見】

- ・ メモリアル施設に学芸員やそれに類する人を配置し、収集・保存・研究をしっかりとできる体制を整えるべき。
- ・ 追悼・鎮魂機能は、モニュメントのような形で追悼・鎮魂を象徴するものを設置し、他の機能とは別に扱うことが考えられる。具体的には今後の計画段階で検討する。
- ・ 経済的な視点により、将来的な維持費、運営費、人件費も踏まえて今後検討していく。
- ・ 候補地の立地条件は、ある程度機能を果たせるスペースが確保でき、アクセスがよく、災害時の安全性が確保できる場所。上記を満たしたうえで追悼・鎮魂に向いている場所であれば尚良い。

3 事業展開イメージについて

【論点】

- ・ ロードマップ・ネットワーク図はふさわしいものになっているか。
- ・ 各項目について具体性が欠ける部分は補足していく。

【主な意見】

- ・ ロードマップに時間軸を入れる必要あり。施設が完成するまでの準備期間の動きも明記する。
- ・ ネットワーク図は将来的な展開として再度まとめなおす。ネットワーク全体を構築するという意味として捉えられないように表現に注意する。